

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 7 年 7 月 1 日(2025.7.1)

【国際公開番号】WO2024/150764
【出願番号】特願 2024-570198(P2024-570198)

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/77(2011.01)

H 0 1 R 12/88(2011.01)

H 0 1 R 13/639(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 R 12/77

H 0 1 R 12/88

H 0 1 R 13/639 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 4 月 14 日(2025.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

信号伝達部材が電氣的に接続される端子と、

前記信号伝達部材が挿入される挿入部を備えると共に、前記端子を保持するハウジングと、

前記信号伝達部材に係合するフックを備え、前記ハウジングに回転可能に支持されたロック部材と、

前記ハウジングを覆う板状部を備えたカバー部材と、

30

前記ロック部材に接触している接触部を備え、前記フックが前記信号伝達部材に係合するロック位置に向かって前記ロック部材を付勢する付勢部材と、を備え、

前記カバー部材は、前記ロック部材を前記ハウジングと前記カバー部材との間に挟むように、前記ハウジングに保持されており、

前記付勢部材は、前記ロック部材に対して前記信号伝達部材とは反対側に位置して、前記板状部から前記ロック部材に向かって突出する第 1 の突出片であり、

前記ロック部材は、前記ロック位置と、前記挿入部から前記信号伝達部材を抜去可能なアンロック位置との間を回転可能であり、

前記フックと前記接触部とは、前記ロック部材の回転軸に対して実質的に直交する方向に延在する同一の仮想平面上に位置している電気コネクタ。

40

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電気コネクタであって、

前記付勢部材は、前記板状部と一体的に形成されている電気コネクタ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の電気コネクタであって、

前記カバー部材は、導電性を有する材料から構成されたシェルであり、

前記シェルは、前記板状部と一体的に形成されていると共に、前記信号伝達部材に電氣的に接続される第 2 の突出片を備える電気コネクタ。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の電気コネクタであって、

50

前記ロック部材は、前記フックを先端にそれぞれ有する一対のロックアームを備え、
前記接触部は、前記ロックアームに接触している電気コネクタ。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の電気コネクタであって、
前記ロック部材は、
前記フックを先端にそれぞれ有する一対のロックアームと、
前記一対のアームを連結する連結部と、
前記連結部に設けられた操作部と、を備え、
前記カバー部材は、前記操作部を露出させる切欠き又は開口を有する電気コネクタ。

【請求項 6】

10

請求項 5 に記載の電気コネクタであって、
前記カバー部材は、前記板状部と一体的に形成されていると共に、前記連結部に接触して前記ロック部材を前記ロック位置に向かって付勢する第 3 の突出片を備える電気コネクタ。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の電気コネクタであって、
前記付勢部材は、
自由端である前記接触部と、
固定端と、
前記接触部と前記固定端との間に延在する延在部と、を備え、
前記接触部、前記延在部、及び、前記固定端は、前記ロック部材に対して前記信号伝達部材とは反対側に位置している電気コネクタ。

20

30

40

50